宮号宣下 ▲御産所は冥日刑部卿局の縁故なり 親の女 後桜町院 と称す 弘治二年出入輿に嫁礼 天正七年九月十七日 武八月廿九日 故あるに出て害を別清竜寺に葬送 西光院殿と称し 京後の御墓所は豊臣太閤の妹 秀吉 と称す 天正十四年六月十四日 聚楽亭に於て逝去 年四十八 京福寺に葬送 南の院殿と称し 京に正徳四年十一月に供田八十石を寄附院号を賜る 新撰紫況に 八千出雲を忌の故に出雲を執 ハ出料の地 ○

台徳院殿御世

秀忠公御事 朱熙官帝二男 母堂は西御の局 於市の方と称す 西々方 左衛門佐源頼貞の養女 実は戸塚氏 弟 実は女 天正十七年六月十九日逝 宝泰院殿と称す 後剃髪 法号 実は戸塚氏 天正七年四月七日を別渓松城に出誕生 於長丸 幼名 或は長丸 長丸 と称す 天正十六年八月 従又位下侍従 或は侍従 と称す 天正十六年正月五日 正又位下 正邦 按に十八 天正十六年六月の出家位法名 法名 を改 天正十八年四月結髪 加冠 後 技 薄名曰 渭 出家 曰 賢 髪 賀 雅 結髪 薬 衣 号 呼 放 吾 更 名 為 家 称 ■ 々 朴 実 放 遺 初 覚 放 者 出 寵 吾 帯 髪 衣 及 肩 衣 襟 秀 者 元 名 名 弱 大 小 刀 授 常 に 熟 髪 を 吾 帯 髪 衣 外 館 修 礼 而 髪 実 納 以 為 貨 也 吾 憂 髪 を 所 疑 的 用 貨 為 母 号 速 護 遷 還 後 府 亜 政 に 泥 御 中 器 十二月 廿九日 世子 叡 従 に 位 下 侍 従 きとし 天正十六 十六 日 の 出 家 爵 を 授 に 十二月 廿九日 出 家 位

を授 初と称す 天正十八年 秀吉 長丸 と称する時 天正十八年 従 に 位下 に 対する 出 次 家 為 ゆえ 称 故 本 の 出 家 儀 に 従 ふ 天正 十八年十二月廿九日 出 濃 に 初 月 年十二月廿九日 従 に 位下 天正 十九年十月 右 を 清 格 に 初 兼 武 義 に 月 年十一月八日 出 を 清 中 に 初 出 年 清 右 中 に 初 元 侍 従 に 位下 と の 時 に 十九年 に 初 剃髪 へ と の 出 次 家 為 ゆえ に 称 故 本 の 出 家 儀 に 従 ふ 月日 参議 文禄 元年 十二月 改元 九月 九日 従中納言 従二位 に 上 京 に 中納言 と 称 す 十月 江戸 出 城 文禄 三年 正 九月 出 入 洛 父 君 の 出 凱 旋 を 賀 し 秀吉 に 謁 し の ち 文禄 三年 二月十二日 辞 従中納言 文禄 に 年九月十七日 出 婚 礼 豊臣 太閤 養女 清 水 に 出 生 文禄 二年 に 月十一日 長女 千姫 君 生 出 母堂 の 産 に 文禄 八年七月廿八日 生 文禄 元 和 三年九月 本 家 中 納言 秀忠 嫡 の 新 後 称 行 幸 院 文禄 三年八月 秀吉 に 伏 見 城 に 薨 に 文禄 二年六月 廿 遊 猟 天 樹 院 殿 葬 小 石 川 伝 馬 院 に 江戸 出 城 文禄 に 年月日 子 雅 君 生 出 母堂 に 産 に 文禄 六年 八月十二日 小 松 中 納言 利 常 に 養 中 元 和 八年七月 二日 遊 猟 天 徳 院 殿 葬 に 文禄 元年七月十九日 上 杉 景 勝 出 征 伐 と し て 江戸 出 発 賀 下 野 国 宇 都 宮 に 出 逗 留 八月 上 方 逗 留 信 紀 に 下 り 合 戦 出 を 聚 に 出 れ 月 廿 宇 都 宮 より 関 東 諸 を 終 て 上 洛 る 九月十日 翼 を 京 に 於 て 兄 城 に 休 憩 月 十九日 を 清 の 出 陣 営 に 長 浜 月 廿日 朱 熙 官 出 対 新 月 廿 七日 大 坂 二 九 に 入 所 月 年十二月十八日 出 来 内 文禄 六年二月十六日 大 坂 に 出 逗 留 光 天 下 を

[illegible]ハ二月日長九君生（母未詳寛永七年九月廿八日逝 法秋法院殿葬場上野寛永寺）二月廿四日大坂ヲ御発ス 四月廿八日桂大納言
従二位ニ昇ル 廿九日 四月内ニ年号正月十日御元服 還御江戸ヘ 還御又月十二日 揚梅君生（母常光院十六年九月廿日
[illegible]ヲ宣下ス 為代年号ヲ二十万石ニ減ス 寛文
十二年二月廿日逝 法号常光院殿 葬于天徳寺

寛文七年 正月 東照宮ヨリ賞ニ於テ二十万石ヲ世
ラル 為代年号ヲ二十万石ニ減ス 寛文
大納言ノ孫ニ牧君ヲ召元服ヲ為ス

寛文八年 七月 初姫君生（母常光院十一年七月京極氏ヨリ入輿 寛永七年二月廿日逝 法号常光院殿 葬于天徳寺）
葬儀 通院 十二月七日 ヲ為ス 左大将ヲ為ス 右大将ヲ為ス 察ス 監

寛文九年 二月 [illegible]国[illegible]ヲ長政父ノ孝高
の遺物東照宮ヲ勅使ニ 六月十日 ヲ入洛 月十一日 ヲ参内 烈祖公[illegible]ヲ今年六月十日 神祖至ル
松栄院殿ヲ以テ 廿日入洛ト一ヲ参ス 光秀ノ孫 [illegible]
祖父ヲ代ル 世ヲ入ル 寛永ノ年二月ヲ義直公創業院殿ヨリ 右[illegible]ヲ代ル 七月十七日 家光公誕
生（祈子代ヲ代ル 母常光院ヲ養所 ヲ偽ル 世紀ヲ出ス）

寛文十年 十月 上洛 二月廿一日 御発ス 城ヲ 入御 廿九日 ヲ参内 二月七日
東照宮ヲ 織田十六日 二条城ヲ於テ 将軍 宣下内大臣 延実大将軍正三位宏ヲ為ス
元のかし 芸源和特 学友院 別為源氏長者 牛車ヲ許サレテ 陸奥ヲ 任ヲ 為ル 二月廿日
ヲ参内ヲ 洋実 月廿七日 ヲ二条城ヲ 東宮ヲ 月廿日 御発ス 還御 月年八月 [illegible]日 法大納言 宅
城ヲ 礼ヲ 参 [illegible] 年六月 日 江戸ヲ 還御 月廿日 [illegible]

寛文十一年 江戸城ヲ改築 月廿日 [illegible]

朝鮮来聘

ヲ平代実義ヲ大納言ヲ母常光院ヲ養所 元和元年十二月 従二位権中納言
宏ヲ元年八月 対馬宗氏ヲ中務大輔ヲ 従二位権大納言 八年九月ヲ除 九年廿二月六日逝 法号[illegible]院殿 葬于[illegible]
ヲ 倍 ヲ 月年九月廿三日 初成ヲ 後徒 寛文十二年正月ヲ 出ス城ヲ 壊ス 月日ヲ 名ヲ 三器漢
ヲ紙漢ヲ ヲ 月年八月 宗義智 朝鮮ヲ 三使ヲ 接ヲ 使ヲ 貢物ヲ 献ス 使
ヲ軍家ヲ 洋渡ヲ 軍家ヲ 返簡ヲ 朝鮮ヲ 出ス 書ヲ 為代 朝鮮 来聘ヲ 始ル
十月 日 和子生（母常光院ヲ養所 元和六年十月十八日入内 女御 寛永元年十月十八日ヲ
宮ヲ 寛永六年十月廿九日 ヲ 東福門院 延宝六年六月廿日 崩御 葬于ヲ 泉涌寺）

寛文十二年 正月
学校ヲ 設ヲ 松ヲ 命シ 活版ヲ 東照宮ヲ 朱墨ヲ 点ヲ 加ヘ 元和ヲ 七月 清涼殿ヲ 火ヲ 流球ヲ 揚ル
ヲ 出ス 下シ 士ヲ 成功ヲ 賞セラル 八月 後府ヘ 器物ヲ 紀伊ヲ 国ヲ 世ヲ 人ヲ 月年十二月 水楽殿ヲ 色
用ヲ 禁止 清涼殿 通用ヲ 作出サル 宝貨ヲ 貢ヲ 来聘ヲ 作ル 来聘ヲ
良薬ヲ 吸 [illegible] 代ヲ 古渡ヲ 月年十月廿九日 中ヲ 西ヲ 山ヲ 宮ヲ 流ヲ 大名十二年 学ヲ 東ヲ 下リ

寛文十三年 十月 江戸ヲ 城年ヲ 作出サル

延宝元年 正月二日 ヲ 遠初ノ儀式ヲ 牧ヲ 遠初ヲ 代ヲ 対ヲ 為ル
為ル 為代年号ヲ 今年正月ヲ 改テ 出遠初ヲ 牧ヲ 遠初ヲ 代ヲ 対ヲ 為ル
連歌ヲ 是年ヲ 式ヲ 設ヲ 行ヲ 月ヲ 正月ヲ 月ヲ 為ル 月年二月 後府ヘ 器物ヲ
紀伊ヲ 国ヲ 廿ヲ 人ヲ 三月 月ヲ 宮ヲ 出ス 麻布ヲ 猟ヲ 後ヲ 出ス 教ヲ 学ヲ 牧ヲ 挙ヲ 遠ヲ 出ス

六月小田原ニ至テ　還御同年六月尾張国名護屋城ヲ築ク同年七月丹後国宮津城ヲ壊テ小田原ニ移サル同年八月廿八日琉球王尚寧始テ入朝慶長年侍医吉田宗安父宗恂ト遣物千金方ヲ献ス　安長　十六年三月六日ヨリ江戸城ニ諸侯始テ月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二月十二日　浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ　同年八月十七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年三十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年四十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年五十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年六十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年七十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年八十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年九十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百二十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百三十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百四十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百五十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百六十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百七十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百八十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年百九十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百二十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百三十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十五月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十六月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十七月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十八月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百四十九月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百五十月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百五十一月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百五十二月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百五十三月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ紀伊国ニ移シ　同年二百五十四月廿七日　浅野弾正大弼長政ヲ甲斐国ニ移シ浅野左京亮幸長ヲ

伊勢に行幸あり　十九日御発足　出発途中八月四日江戸還御　廿日法令の法制を定らる　十二月廿六日　廿七日大坂城に陣　法士到着を乞され　是日武田妙恵城に放火あり　是年物産年中行事　元和二年　二月　二日　六日に来年の予算　十日　二十日　二月　三日　出征　九日　十日　十月　十日　十一月　十二月　十六日　十七日　十月　十日　十一月　十二月　十六日　十七日　十月　十日　十一月　十二月　十六日　十七

[illegible]月 出羽丸山城小十人組織[illegible]
[illegible]十二月廿日伊達政宗ガ死ス 駿河中納言
[illegible]城ヲ壊ス

寛永元年二月六日水戸頼房々ノ屋形ヲ 駿河ニ出相伴ハル紀伊中納言
頼宣々ヨリ二月二条ニ出城出来ル 同年四月江戸西丸出来ル 十四日蒲生下野守忠郷ガ死ス
駿河ニ出相伴ハル水戸頼房々義堂和尚ヨリ虎ヨリ猿ヲ出ス 十月十日 成ハ十二月
今ノ東武実録ニ西丸ハ出来 或云西丸ハ伊達城ヲ引移サレタル元ガ完跡ノ名ト
称ス 考ヘ切ナシ 東武実録ニハ伊達城ヲ破ル知ルベシ 伊達ノ
陣屋ニテ出ル戦場ノ例ヨリ云ヘ云 同十二月 日 出来ル 駿河ニ出伊達ノ志義ヲ[illegible]

寛永二年
二月八日 駿河ノ中納言忠長々ノ屋形ヲ 駿河ニ出相伴ハル尾張義直々水戸頼房々猿ヲ出ス
同三月八日尾張屋形ヲ 駿河水戸頼房々丹羽長重義堂ヨリ虎ヨリ猿ヲ 上洛
同八月九日大出来所出来ル 出来ル 駿河後河忠長々ノ屋形ヲ 駿河ニ出相伴ハル
出来ヲ持ツ

寛永三年二月廿七日紀伊屋形ヲ 駿河ニ出相伴ハル水戸頼房々義堂ヨリ虎ヨリ
猿ヲ出ス 紀伊屋形ヲ 同八月 日 改姓ス 駿河ニ出相伴ハル水戸頼房々義堂ヨリ虎ヨリ

[illegible]ヲ 駿河ニ出相伴ハル水戸頼房々義堂ヨリ虎ヨリ
駿河ニ出城中 上洛ス 同十月十八日 成ハ十九日今 大改元 同年十月江戸ヘ 還御 寛永四年二月二日後河ノ
屋形ヲ 駿河ニ出相伴ハル水戸頼房々丹羽長重ヨリ 同二月尾張屋形ヲ 駿河ニ出相
伴ハル水戸頼房々義直ヨリ 同十四日水戸屋形ヲ 駿河ニ出相伴ハル尾張義直々ヨリ猿
宗義ヨリ 七月廿四日後河ノ屋形ヲ 駿河ニ出 寛永 八年四月朔日光山ニ出来宮 寛永 八年二月
廿八日尾張屋形ヲ 駿河ニ出相伴ハル水戸頼房々ヨリ 二月十九日尾張屋ヨリ世界ノ景色ヲ上
セラル 名所言行録 同六月廿六日ヨリ出ル 後河ヲ 将軍家ヲ 西丸ヲ 駿河ニ出寛永 □年□月
□日出来間ノ例ヨリ出来ル同処ヲ違ラル出来分ハ要塞ノ耕地ノ景ヨリ 寛永 九年正月出来ル
玄篤ニ 将軍家月ニ 西丸ヲ 駿河ニ出ル 家ヲ執政法大名ヲ月ニ 出 城ヲ廿日成剃髪 駿河
西丸ヲ 駿河ヨリ 西丸ハ年寄ヲ 駿河ニ出来ル 年丹後ヲ 年ヲ十四日廿六日夜出出 稚児上寺ハ出
酒井雅楽頭ハ 西丸ヲ移リ出来ル 表方ハ毎ノ如ク出来ル 表方ハ毎ノ如ク出来ル
葬送 同二月廿二日 勅使 台徳院殿 御法 正一位大相国 同廿六日 将軍家ハ送物ヲ出セラル
出安中方出来ル門跡大名方ヲ 出 禁中ハ御ラビヲ出ス 御月人ハ下ハ与力ニ公方ヲ元ヲ

出送金を賜ひ又は自殺を賜る ▲御產所は侍中納言長政々息女（織の小谷の城主浅井備前守長政の妹）に母は織田右府（信長公）の妹 御產所は達子（或云於江と称す）後年大御所と称し奉る豊臣太閤秀吉の妻なり 慶長文禄比年九月廿七日御入輿 寛永三年九月十日薨御年卒 比時より宮廷出奉送 紫宸殿と称し奉る 同年十月従一位を賜る 同九年九月出家 長政卿より正二位中納言を賜ら れ

○ 大猷院殿御世

家光公出事は 台德院殿嫡男 母堂は豊臣秀吉公の女（実は養女 納言浅井長政の息女）

[寛永] 九年七月十七日江戸西城に出誕生 幼名竹千代と奉称 同年十月八日上洛 同廿六日参内 出発 参議藤原と奉称 従三位に昇進 [元和] 六年正月廿日西城に於て正三位に昇進 十月廿日権大納言 正月廿日任官 同年十二月 九月七日出発 家光公 或云 元和元年 従二位権大納言 後年源氏長者 大納言藤原家光卿 金剛院殿 或云 右大将殿 右大将殿 [illegible] 同廿六日於 出家 金剛院殿 出家 元和 [illegible]

出間 [illegible] 家光岡の字は初出 考 [illegible] 大言 [illegible] 出 [illegible] 出 [illegible] 出

胡蘇神供奉　城四礼芸年貝を材小不動堂八下塩彩地小更巖ち之芸年法士の武紫
四設　寛永二年三月十八日川城（四敬宮出家御所の様　右兎月廿日　還御月七月月光山
四社系十月晦日年礼班四特四浜炮中て拵四ッ四対面　寛永三年正月朔日飛丸ま　御所芸
四華之間小於て　大御所（四対彩家初て於一の人三月乃芸人命一大学和学抄を選せ也
三月日光山ま　四系清水月清茂左ち妙改ぶ揺田の面茂沈上亭へ　御所の三月乃芸に
孫ま旅解を撰せ也月六月三畏清旅解を撰せ也乃芸四書入経の要路を撰して芸を
勅て月年八月四上洛月月十三日　四系内月十八日従一位左左ま九月六日ま上　後水尾院二条城へ
行幸　十日舞楽管法八日　和学四芸式日　右徒ち　大蘇以和学を泳せらる　寛永行幸記　竹葉遊年
九日四鉄奥行十日　還幸月年十月九日江戸　還御芸年ち二条城在中焼れ大四芸芸を勅
月十一年大四芸十二組と欲ち月十二年芸四二人を附らる　寛永　四年三月三日鴻巣四成奏ち九月朔日
上洛　御宮法堂造営成月十七日正遷宮芸を東叡山寛永寺ち国頃院と号ス　寛永天
年四月日光山　四社系十月六日薬師夜飛丸花烟ま水井伝法ち組行村孫九郎左衛門殺

二条在番北九

殺　家の左衛門本造三郎左ち除木之芸ちと及ま伝二人ト之城為負ま処左人ト逐去孫九郎退行ス孫四ス炮消
闇夜と欲ス猫の様ま久左ち之ま法ま底年ま殺家ス法之郎左ち底生死の組組井共組ス法十長兵衛の組
城芸ち我様左ち今猫宗三郎夫人ス孫九郎捕押ス芸ま夜ス孫ス底負ス氏夫人傷ス孫ス組ス芸ス
今宗三ち法式宗三人ス孫ス組左ち四郎ま芸ス法式宗三人ス孫ス組左ち四郎ま芸ス法式宗三人ス孫ス組ス芸ス
永井伝法ち宗ス　四ス法感ス上ス四ス四ス法ス下孫ス郎ス四月月十三日
ス切腹ス　伝分　寛永六年正月六前松山ス鼠盗千余人蜂起ス城ち攻ス　右ス芸ス発ス
討平ス二月四ス泡沫月年四月日光山四社系月年九月六日武家法法会法　作出月九月四法会ス
頒布せら月年十月朔日　後水尾院譲位　武安四年ち月六日　法度　此年始て江戸武家諸家ス法ス辻
法度布　寛永七年二月廿七日武前水尾院へ　水尾院村長　竹院所伝　六月法華ス
四経ち四綸ス稲葉丹後ち四伝ス　水尾院村長　竹院所伝　六月法華ス
城四礼七月言女院四崩御中和門院と号ス九月十二日　琉球金
去井利勝ま為四使ま　明正院ス即位　後水尾院第二皇女　諱興子　寛永ス法井ス世
物雅ち作ス和学の図記を造て勅上ス芸年ち米法ス於ス船来の書籍の内耶蘇教法の
を禁せら芸を禁ス去ス云　光傳四記歌舞伎巴人利瑪竇ス作　三十二接　千使教法の事ス云
三月川城ち四城　寛永八年二月十八日川城四敬宮ス三月
四城千ち小原藩ス月十九日江戸　四城千ち小原藩ス月九日尾張家形小　後水

水戸藩主徳川宗堯に対し、仮牢六月十四日、死後没収を加え、後死後追放を加え、廣蓮寺に対し、ようく不届没収出羽庄内へ配流、八月十日出目付岩瀬伝右衛門中山岩中井上主水正切腹、大目付筒井伊賀守、目付鳥居甲斐守、小十人目付、小十人目付、小十人目付

大坂城出来候事

出来候事

法華宗大坂敵　出成の始也八月二日於京都出来候事

[illegible]　鹿丁社　作者法大名人出料理[illegible]

[illegible]

[illegible]

張るどの武ハめ伝ハ拙ハ衣いるのどてあるべき　是年江戸出張奥様出来給ふ　画作探幽ハ命せられ
ゆとこそ弱ゑて二絶と出来給ふ　とあり　是年
赤照天出縁起の景を作らせめらる　寛永　十七年三月天海僧正の法ハ仍て赤照山中大義
絶新剃のゆを命せらる　赤照天二十　面出忌記　同三月桜千代姫君生　出扶桑振方所載ハ寛永第十六年
孫十年十二月十日逝　霊記院殿　葬場上寺出刻尚松蓮社　七月八月是月を書く七月増田正盛を以て在来経寺の僧を海外に
て僧士の回答を以て伝さるべきの出沙汰ある丙年十月より紀伊藩の法度
細川忠興号有る三花ハの法度ハ三を辛て伝系を図む江府より板倉内膳正重昌石谷
十蔵を陣代ハ差ス代年西丸山里ハ於て出来士の的射　上覧　寛永　十八年二月松平伊豆守信綱
台命を蒙て法系ハ番向耶蘇の法禁江戸へ吟陣法大ハ詰ハ出ス　凱旋を是年
尾州赤海ハ出建ス　万松山赤海ハ開基ハ沃為宗彰ハ成又百石　寛永　十六年三月廿日上旨　出家ス上七月八日紀家山出
書和歌を建ら　出日記ハ七月八日出出和歌　作者と又ハ　十月九日　御本九ス上　成ハ出家所より出ス
天文ハ焼出　為中陪ス上　十月九月柳生但馬守ハ法の出物を勅で十月三日　赤照神君出縁起家綱公出日
出縁起を出ス家方へ内見せめらる　十月廿又日出縁起卒業　丙壬十月三日　日光出縁起を活井法号

弓術上覧

武家系図

を一て紀伊亜相宗へ生さる　彼亭へ尾張亜相水戸光門第　日光出縁起河ハ僧出天海画ハ法眼探幽
ちの出縁起の赤ハ　家光のゆ　ハ　ハ　ハ